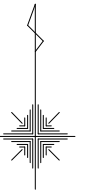


位置図

S=1/10,000



工事名	令和7年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事		
工事箇所	可児市瀬田地内		
図面名	位置図		
縮尺	1:10,000	図面番号	
可児市 水道部 下水道課			

件 名	令和 7 年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事		
施工場所	可児市 瀬田・石森 地内		
金 額	円	内消費税相当額	円
理 由			
本工事箇所は、木曽川右岸流域関連可児市公共下水道事業に伴う全体計画・事業計画区域内であるため、該当地へ下水道管渠の布設を行う。			
概 要			
下水道管渠布設工 RP φ 200 L=180m 1 号マンホール設置工 N=5 基			

特 記 仕 様 書

1. 一般事項

- (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。
- (2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
- (3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

2. 建設副産物有効利用及び適正処理について

- (1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。
- (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。

3. 使用材料

- (1) 生コンクリートについて
本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート（24N/㎓以上）については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート（21N/㎓以下）については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4. 工事施工について

- (1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。
- (2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

6. ワンデーレスポンスの取組について

- (1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
- (2) 実施にあたっては、「可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領」に基づき実施する。
- (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
- (4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

- (1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
- (2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 可児市公共基準点の保全について

工事施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鈿を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。

11. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について

工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。

また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。

13. 統一の一斉休工の取組について

- (1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、「公共工事における統一の一斉休工（略称：まんなかホリデー）」に取組む対象工事である。なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。
- (2) 対象工事は、工事着手日～工事の終期（契約工期末）までの期間において、毎月第2土曜日の一斉休工に積極的に取組むものとする。なお、統一の一斉休工の実施日が変更となった場合は、別途、監督員より協議する。

1 4. 週休 2 日制モデル工事の実施について

本工事は、完全週休 2 日を原則とした週休 2 日制モデル工事（現場閉所）である。
「可児市発注の週休 2 日制モデル工事実施要領」に基づき実施すること。

1 5. 工事施工について（下水道）

- (1) 掘削延長は、原則として、当日中に管布設及び埋戻しが完了する範囲とする。構造物基礎コンクリート打設により当日中に埋戻しができない場合には、適当な表示を行うなどして通行人などの危険防止に努めなければならない。
- (2) アスファルト舗装等の取壊しは、アスファルトカッター等を用い、切口が粗雑にならないようにしなければならない。
- (3) 過掘りになった部分については、良質土で埋戻しを行い、60～100kg 級タンパ又は同等以上の締固め機械で十分締固め、管等の沈下がないようにしなければならない。
- (4) 床付面に予期しない不良土質が現れた場合には、監督員に報告しその指示に従わなければならない。
- (5) 碎石埋戻しは、管両側同時かつ均等に埋戻し入念に締固めを行い、管の沈下及び移動が生じないように施工しなければならない。
- (6) 埋戻しは、一層の仕上り厚さを 20cm 以下とし、各層ごとにタンパ（60～100kg）又は同等以上の締固め機械で締固めなければならない。
- (7) 路床部の埋戻し材は、現場発生土の有効利用を原則とするが、発生土の使用にあたっては CBR 試験等を行い、監督員と協議の上決定すること。
- (8) 仮復旧は毎日、管布設及び埋戻しが完了した範囲を行うものとする。
- (9) 交通量が少なく路盤での開放が可能な箇所は、監督員と協議をし、一週間以内に仮舗装を行うこと。また、本復旧までに不陸や破損が発生したときは、速やかに補修をすること。
- (10) 一週間に一度仮復旧した箇所を監督員が検査を行い、車両走行に対して危険性があると判断されたときは、速やかに仮舗装をめぐり取り、受注者の負担により再施工とすること。
- (11) マンホール間（1 スパン）の最初の配管は起点になる部分であるため、接合する管の芯出し、位置決めは特に正確に行うものとする。
- (12) 管は原則として順次上流側に向けて接合しなければならない。
- (13) 管の接合に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。
- (14) マンホール蓋のすりつけは、監督員と十分に検討し、雨水の流入がないように設置すること。
- (15) インバート表面及び曲線部は、汚水が円滑に流れるように連絡管の管径及び管底に合わせて滑らかに仕上げなければならない。
- (16) マンホール内のコンクリート打設、インバート部の施工及び管接合部の施工等に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。
- (17) マンホールの天端高について、将来舗装の本復旧を考慮した場合、明らかに天端高を変更した方が良いと考えられるときは、監督員に必ず報告を行い、書面をもって協議すること。
- (18) 工事終了後、管内を洗管し、管内がきれいな状態で検査を受けること。供用開始前に管内の点検及び清掃を行い、補修が必要な場合は、速やかに対応すること。
- (19) 土留工の形状及び設置は、別途図書（標準図）を原則とするが開削部付近の環境、交通、地下埋設物等の条件によっては監督員の承認の上、変更することができる。
- (20) 土留工の構造については、土質条件、荷重条件に基づく強度計算、施工方法等を検討の上、計算書、構造図を提出し、監督員の承認を得なければならない。
- (21) 建て込み簡易土留工の採用に当たっては、十分に検討を行い、監督員に検討書及び承認願いを提出し承認を得なければならない。

特記仕様書 (条件明示)

工事名 令和7年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	☐ 1. 関連する別途発注工事あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 2. 他機関協議による工程条件あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 3. 他機関との協議状況	☐ A. 協議済機関及び内容 () ☐ B. 未協議機関及び内容 ()
	☐ 4. 占用許可状況 ()	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 5. 建築確認	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 7. 文化財協議 (文化財課)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 8. 施工時期	☐ A. 施工時期 ()
	☐ 9. その他	☐ A. その他 ()
用 地	☐ 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A. 区間 (No. ~ No.) ☐ B. 着工見込時期 () ☐ C. 内容 ()
	☐ 2. 工事用地の未買収	☐ A. 場所 () ☐ B. 処理の見込み時期 () ☐ C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	☐ 3. 仮設ヤードの有無	☐ A. 官有地 ☐ B. 民有地 ☐ C. その他 () ☐ D. 別途協議
	☐ 4. その他	☐ A. その他 ()
公 害 対 策	☐ 1. 施工方法の制限あり	☐ A. 騒音 () ☐ B. 振動 () ☐ C. 水質 () ☐ D. その他 ()
	☐ 2. 事業損失防止に関する調査あり	☐ A. 調査の項目 ()
	☐ 3. 環境影響調査あり	☐ A. 生物・植物調査あり
	☐ 4. 土壌汚染対策法に関する届出	☐ A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	☐ 5. 石綿含有に関する事前調査	☐ A. 発注者による含有調査 (含有の有・無) ☐ B. 受注者による含有調査 ☐ C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	☐ 6. その他	☐ A. フロン回収あり ☐ B. その他 ()
安 全 対 策	☒ 1. 交通規制あり	☐ A. 全面通行止め ☒ B. 片側通行止め ☐ C. 時間制限あり ()
	☐ 2. 通学路あり	☐ A. 迂回路あり ☐ B. 仮設歩道必要
	☒ 3. 交通整理員	☒ A. 区間 (全区間) 配置人員 2 人/日 ☐ B. 区間 () 配置人員 人/日 ☐ C. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☒ D. 交替要員あり
	☐ 4. 鉄道等の近接作業制限あり	☐ A. 工法制限あり () ☐ B. 作業時間制限あり ()
	☐ 5. バス路線 (運行者との協議)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 6. その他	☐ A. その他 ()
工 事 用 道 路	☐ 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	☐ A. 搬入経路指定あり ☐ B. 時間帯制限あり
	☐ 2. 仮設道路の設置条件あり	☐ A. 一般交通供用あり ☐ B. 安全施設必要 () ☐ C. 路面工 () ☐ D. 工事完了後存続又は撤去 () ☐ E. 構造 () ☐ F. 用地 (借地) ☐ G. 用地 (公用地) ☐ H. 用地 (その他)
指 定 仮 設 備	☐ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A. その他 ()
	☐ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 ()
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物関係	☒ 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	☒ A. 運搬距離 (10.2 km) ☒ B. 投棄料計上あり ☐ C. 整地(押土、敷均、締固等)必要 ☐ D. 整地(押土)必要
	☒ 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	☒ A. 盛土、埋戻 ☐ B. スtockヤード利用あり () ☐ C. 仮置場必要 () ☐ D. 運搬距離 (km) ☐ E. 仮置場の用地借上費計上あり
	☐ 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	☐ A. 場所 () ☐ B. 盛土、埋戻 ☐ C. 整地(押土、敷き均し、転圧)あり ☐ D. スtockヤード利用あり () ☐ E. 仮置場必要 () ☐ F. 運搬距離 (km) ☐ G. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ H. 処分料計上あり
	☐ 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	☐ A. 他工事名 () ☐ B. 請負者運搬あり(運搬距離 km) ☐ C. 盛土、埋戻し ☐ D. スtockヤード利用あり () ☐ E. 仮置場必要 () ☐ F. 仮置場の用地借上費計上あり
	☐ 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	☐ A. 種類 () ☐ B. 場所 () ☐ C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) ☐ D. 処理費計上あり
	☐ 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	☒ 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	☒ A. 産業廃棄物管理票(マニフェスト) ☒ B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 ☒ C. コブリス ☒ D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	☐ 1. 占用支障物件あり(電気)	☐ A. 移設時期(R 年 月頃) ☐ B. 移設時期(別途協議)
	☐ 2. 占用支障物件あり(電話)	☐ A. 移設時期(R 年 月頃) ☐ B. 移設時期(別途協議)
	☐ 3. 占用支障物件あり(水道)	☐ A. 移設時期(R 年 月頃) ☐ B. 移設時期(別途協議)
	☐ 4. 占用支障物件あり(下水道)	☐ A. 移設時期(R 年 月頃) ☐ B. 移設時期(別途協議)
	☐ 5. 占用支障物件あり(ガス)	☐ A. 移設時期(R 年 月頃) ☐ B. 移設時期(別途協議)
	☐ 6. 占用支障物件あり(マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	☐ A. 管理者による高さ調整 () ☐ B. 請負者による高さ調整 ()
	☐ 7. 占用支障物件あり(その他)	☐ A. 移設時期 () ☐ B. 移設時期 (別途協議)
	☐ 8. その他	☐ A. その他 ()
排水工関係	☐ 1. 濁水、湧水処理条件あり	☐ A. 方法 ()
	☐ 2. その他	☐ A. その他 ()
再生材使用	☒ 1. 再生材使用指定あり	☒ A. RC ☒ B. アスファルト再生合材(30%再生) ☐ C. アスファルト再生合材(100%再生) ☒ D. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ E.
	☐ 2. その他	☐ A. その他 ()
その他	☐ 1. 現場発生材あり	☐ A. 品名 () ☐ B. 納入場所()
	☐ 2. 支給材あり	☐ A. 品名 () ☐ B. 引渡し場所()
	☐ 3. 現場環境改善	☐ A. 仮設費 () ☐ B. 安全費 () ☐ C. 営繕費 () ☐ D. 地域連携 ()
	☐ 4. 「可児市工物品質証明実施要領」該当あり	☐ A. 品質証明員の配置あり
	☐ 5. 部分使用	☐ A. 範囲 () ☐ B. 時期 ()
	☐ 6. その他	☐ A. その他 ()

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
01:本工事費					工種区分：下水道工事（2）
管路					
	1	式			
管きょ工（開削）＜管径200mm＞					
	1	式			
管路土工					月単位
	1	式			
機械掘削工（バックホウ）					
	390	m3			施工歩掛表(DG000005-0001)
機械投入埋戻工（バックホウ）					
単粒碎石	42	m3			単価表(SJ0010)
機械投入埋戻工（バックホウ埋戻）					
	170	m3			施工歩掛表(DG000030-0003)
機械投入埋戻工（バックホウ）					
再生碎石	50	m3			単価表(SJ0011)

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
残土処分					単価表 (SJ0012)
	200	m3			
管布設工					月単位
	1	式			
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 φ = 2 0 0 mm、施工規模20m以上、時間的制約なし、通常（6時～20時）					施工歩掛表 (DG000110-0004)
	181	m			
砕石基礎設置（機械施工） 単粒砕石2.5-20mm 制約無 夜間無					単価表 (SJ0013)
	15	m3			
埋設標識シート 上下水道用 幅150×長50 ポリエチレンクロス シングル					TJ0012
	180.110	m			
埋設表示テープ（下水道用） 貼付タイプ W=50mm L=20m					TJ0013
	180.110	m			
管路土留工					月単位
	1	式			
軽量鋼矢板建込(両側)工					施工歩掛表 (DG000315-0006)
	64.400	m			

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
軽量鋼矢板引抜(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0008)
	64.400	m			
軽量鋼矢板建込(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0009)
	122	m			
軽量鋼矢板引抜(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0010)
	122	m			
土留支保工(軽量金属支保工)設置工					施工歩掛表(DG000350-0011)
	186.400	m			
土留支保工(軽量金属支保工)撤去工					施工歩掛表(DG000350-0012)
	186.400	m			
土留め材賃料					TJ0032
	1	式			
腹起材賃料					TJ0042
	1	式			
切梁材賃料					TJ0052
	1	式			

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
マンホール工					
	1	式			
1号組立マンホール					月単位
	1	式			
マンホール蓋（可児市型） JSWAS G-4					
T-14 φ600 サツキ模様	5	組			TJ0014
アンカーボルト・調整駒（受枠変形防止）					
150-M16 保護スリーブ等含む	5	組			TJ0015
マンホール用管理番号					
7桁	5	組			TJ0016
調整リング					
t=100	2	個			TJ0062
調整リング					
t=150	4	個			TJ0072
斜壁					
600×900×300	1	個			TJ0082

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
斜壁					
600×900×450	4	個			TJ0018
直壁					
900×300	5	個			TJ0092
管取付壁					
900×1200	2	個			TJ0019
管取付壁					
900×1800	3	個			TJ0102
底版 (1号)					
有効高130mm	5	個			TJ0020
底部工(組立式)					
敷厚: 0.2 m、再生砕石 (R C - 4 0)、(高炉) 18-8-40BB W/C=60%以下、人力打設、インポート付底 塊使用しない	6	箇所			施工歩掛表 (DG010105-0013)
組立式マンホール削孔代					
0号・1号 (1種) 塩ビ管用200mm	7	箇所			TJ0021
組立マンホール設置工 (市場単価)					
1号 3m超～4m以下	5	箇所			施工歩掛表 (DG010110-0015)

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
マンホール用可とう継手 貼付タイプ					
塩ビ管（リブ）径200mm	11	個			TJ0022
副管取付工（内副管）					
硬質塩化ビニル管、段差1.0m未満	1	箇所			施工歩掛表(DG010040-0016)
内副管用継手					
φ200-150 ゴム製マンホール可とう継手対応型	1	個			TJ0112
固定バンド（内副管固定）					
φ150 SUS	1	個			TJ0122
VU直管					
φ150PE	0.040	本			TJ0132
付帯工					
	1	式			
舗装撤去工					月単位
	1	式			
舗装版切断(施工パッケージ)					
アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用	373	m			施工P単価表(CB430510-0005)

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎(施工パッケージ)					
アスファルト舗装版、騒音振動対策不要、無し、15cm以下、積込有り、全ての費用	160	m2			施工P単価表(CB430310-0006)
アスファルト殻処分					
	6	m3			単価表(SJ0014)
汚泥水処分					
	0.750	m3			単価表(SJ0015)
舗装復旧工					月単位
	1	式			
下層路盤(歩道部)(施工パッケージ)					
全仕上り厚 100 mm、1層施工、再生クラッシャーラン RC-30、全ての費用	53	m2			施工P単価表(CB410031-0008)
下層路盤(歩道部)(施工パッケージ)					
全仕上り厚 140 mm、1層施工、再生クラッシャーラン RC-40、全ての費用	106	m2			施工P単価表(CB410031-0009)
表層(歩道部)(施工パッケージ)					
1.4m以上、1層当り平均仕上り厚 3 mm、再生細粒度アスコン(13)、プライムコート PK-3、全ての費用	53	m2			施工P単価表(CB410261-0010)
表層(車道・路肩部)(施工パッケージ)					
1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚 40 mm、再生密粒度アスコン(13)、プライムコート PK-3、全ての費用	106	m2			施工P単価表(CB410260-0011)

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
道路付属物撤去・再設置工					月単位
	1	式			
歩車道境界ブロック撤去(施工パッケージ)					
再利用	1.800	m			施工P単価表(CB422540-0012)
歩車道境界ブロック(施工パッケージ)					
再利用設置、各種(600mm以下、50kg未満)、再生クラッ ション RC-40、18-8-25高炉W/C≦60、養生あり、小型 車割増無し	1.800	m			施工P単価表(CB422510-0013)
仮設工					
	1	式			
交通管理工					月単位
	1	式			
交通誘導警備員B					
		人			RW1045
交通誘導警備員B					
交代要員		人			RW1045
直接工事費計					
	1	式			

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
間接工事費					
共通仮設費					
運搬費					月単位
	1	式			
準備費					月単位
	1	式			
共通仮設費（率計上額）					施工地域：一般交通影響有り(2)-2、月単位
	1	式			
共通仮設費計					
	1	式			
純工事費					
	1	式			
現場管理費					
	1	式			

内 訳 表

名 称	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
現場管理費（率計上額）					施工地域：一般交通影響有り(2)-2、月単位
	1	式			
工事原価					
	1	式			
一般管理費等					
	1	式			
合計					
	1	式			
総合計					

機械掘削工（バックホウ）					施工歩掛表 (DG000005-0001)
月単位					100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表 (KG000200-0002)
合 計	100.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

バックホウ運転費					施工歩掛表 (KG000200-0002)
月単位					1 時間 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
運転手 (特殊)		人			RW1014
軽油 小型ローリー		リットル			ZC19020000
バックホウ機械損料 排出ガス対策型		時間			MC001320
合 計	1. 000	時間			
単位当り	1. 000	時間	当り		

機械投入埋戻工（バックホウ埋戻）					施工歩掛表 (DG000030-0003)
月単位					100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表 (KG000200-0002)
タンバ締固め(施工パッケージ)					
全ての費用	100.000	m3			施工P単価表 (CB210450-0001)
合 計	100.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

リブ付硬質塩化ビニル管設置工			施工歩掛表 (DG000110-0004)		
φ = 2 0 0 mm、施工規模20m以上、時間的制約なし、通常（6時～20時）			月単位	1	m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
リブ付硬質塩化ビニル管設置工[月単位] 呼び径 200mm	1. 000	m			Q00E81010200
合 計	1. 000	m			
単位当り	1. 000	m	当り		

碎石基礎工（市場単価）			施工歩掛表 (DG000210-0005)		
機械施工、施工規模10m3未満、時間的制約なし、通常（6時～20時）			月単位	1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
碎石基礎工[月単位] 機械施工	1. 000	m3			Q00E86010200
合 計	1. 000	m3			
単位当り	1. 000	m3	当り		

軽量鋼矢板建込(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0006)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表(KG000200-0007)
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

バックホウ運転費					施工歩掛表 (KG000200-0007)
月単位					1 時間 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人			RW1014
軽油 小型ローリー		リットル			ZC19020000
バックホウ機械損料 排出ガス対策型		時間			MC001357
合 計	1. 000	時間			
単位当り	1. 000	時間	当り		

軽量鋼矢板引抜(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0008)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表(KG000200-0007)
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

軽量鋼矢板建込(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0009)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表(KG000200-0007)
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

軽量鋼矢板引抜(両側)工					施工歩掛表(DG000315-0010)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
バックホウ運転費		時間			施工歩掛表(KG000200-0007)
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

土留支保工（軽量金属支保工）設置工					施工歩掛表 (DG000350-0011)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

土留支保工（軽量金属支保工）撤去工					施工歩掛表 (DG000350-0012)
月単位					100 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
合 計	100.000	m			
単位当り	1.000	m	当り		

底部工(組立式)			施工歩掛表(DG010105-0013)		
敷厚: 0.2 m、再生砕石 (RC-40)、(高炉) 18-8-40BB W/C=60%以下、人力打設、インバート付底塊 使用しない			月単位	10	箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
再生砕石 (RC) RC-40	2.280	m3			ZC12160040
コンクリート(施工パッケージ) 小型構造物、18-8-40高炉W/C≦60、人力打設、一般養生、現場 内小運搬無し、小型車割増無し、全ての費用	1.600	m3			施工P単価表(CB240010-0003)
モルタル上塗り(マンホール用) 高炉セメント、全ての費用	7.400	m2			施工歩掛表(DG010015-0014)
合 計	10.000	箇所			
単位当り	1.000	箇所	当り		

モルタル上塗り(マンホール用)			施工歩掛表(DG010015-0014)		
高炉セメント、全ての費用			月単位	1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
モルタル練(施工パッケージ)					
高炉、全ての費用	0.020	m3			施工P単価表(CB240060-0004)
左官		人			RW1035
普通作業員		人			RW1002
合 計	1.000	m2			
単位当り	1.000	m2	当り		

組立マンホール設置工（市場単価）					施工歩掛表 (DG010110-0015)
1号 3m超～4m以下		月単位			1箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工[月単位] 1号 3m超～4m以下	1.000	箇所			Q00E90010500
合 計	1.000	箇所			
単位当り	1.000	箇所	当り		

副管取付工（内副管）					施工歩掛表 (DG010040-0016)
硬質塩化ビニル管、段差1.0m未満					月単位 1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			RW1025
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
合 計	1.000	箇所			
単位当り	1.000	箇所	当り		

側溝清掃車運搬工			施工歩掛表 (WB232010-0017)		
50 km	月単位		100	m3	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人			RW1002
側溝清掃車機械運転費【基準】		日			施工歩掛表 (KC116500-0018)
合 計	100.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

側溝清掃車機械運転費【基準】					施工歩掛表 (KC116500-0018)
月単位					1 日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
運転手（一般）		人			RW1015
軽油 小型ローリー		リットル			ZC19020000
側溝清掃車機械損料		供用日			MC1105017090
合 計	1.000	日			
単位当り	1.000	日	当り		

仮設材等運搬費（往復）				施工歩掛表 (WB010020-0019)	
運搬重量= 12.672 t		月単位		1	式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
運搬費	1.000	式			ZNJ00560
合 計	1.000	式			
単位当り	1.000	式	当り		

仮設材等積込み取卸し				施工歩掛表 (WB010030-0020)	
				月単位	1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
積込み取卸し(片道/往復)	12.670	t			施工歩掛表 (WB010040-0021)
合 計	1.000	式			
単位当り	1.000	式	当り		

積込み取卸し(片道/往復)					施工歩掛表(WB010040-0021)
月単位					1 t 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込みのみ	1.000	t.			ZC39889010
取卸しのみ	1.000	t.			ZC39889020
積込みのみ	1.000	t.			ZC39889010
取卸しのみ	1.000	t.			ZC39889020
合 計	1.000	t			
単位当り	1.000	t	当り		

ポンプ運転工					施工歩掛表 (DG000605-0022)
月単位					1 日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			RW1001
普通作業員		人			RW1002
工事中水中ポンプ 機械損料 作業時排水		日			施工歩掛表 (KG900500-0023)
発動発電機機械損料		日			MC008685
諸雑費	1. 000	式			X981036
合 計	1. 000	日			
単位当り	1. 000	日	当り		

工事用水中ポンプ 機械損料					施工歩掛表 (KG900500-0023)
作業時排水		月単位			1 日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
工事用水中ポンプ 機械損料		日			MC008075
合 計	1. 000	日			
単位当り	1. 000	日	当り		

据付・撤去工				施工歩掛表 (DG000610-0024)	
月単位				1	現場 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人			RW1002
合 計	1. 000	現場			
単位当り	1. 000	現場	当り		

機械投入埋戻工（バックホウ）					単価表 (SJ0010)
単粒砕石		月単位			1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
機械投入埋戻工（バックホウ埋戻）	1.000	m3			施工歩掛表 (DG000030-0003)
単粒砕石 2.5-20mm	1.260	m3			TJ0010
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

機械投入埋戻工（バックホウ）					単価表 (SJ0011)
再生砕石			月単位	1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
機械投入埋戻工（バックホウ埋戻）	1.000	m3			施工歩掛表 (DG000030-0003)
再生砕石（R C） R C - 4 0	1.260	m3			ZC12160040
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

残土処分				単価表 (SJ0012)	
				月単位	1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬(施工パッケージ)					
13.5km以下、DID区間無し、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、標準	1.000	m3			施工P単価表(CB210110-0002)
残土処分費	1.000	m3			TJ0011
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

碎石基礎設置（機械施工）					単価表 (SJ0013)
単粒碎石2.5-20mm 制約無 夜間無			月単位	1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
碎石基礎工（市場単価）					
機械施工、施工規模10m3未満、時間的制約なし、通常（6時～20時）	1.000	m3			施工歩掛表 (DG000210-0005)
単粒碎石					
2.5-20mm	1.260	m3			TJ0010
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

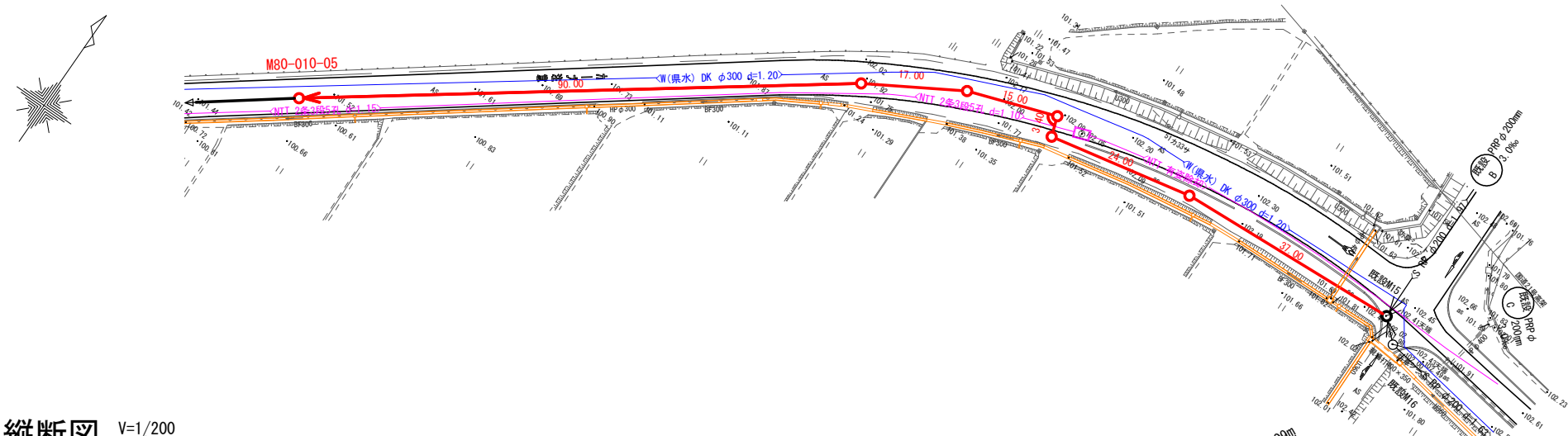
アスファルト殻処分					単価表 (SJ0014)
月単位					1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
殻運搬(施工パッケージ)					
舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、DID 区間有り、15.0km以下、全ての費用 処分費(多治見市大沢町)	1.000	m3			施工P単価表(CB227010-0007)
アスファルト処理場 塊 50*50*50以下	2.350	t			ZC29960004
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

汚泥水処分					単価表 (SJ0015)
月単位					1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
側溝清掃車運搬工 50 km	1.000	m3			施工歩掛表 (WB232010-0017)
処理費 (ベントナイト)	1.400	t			ZC29990008
合 計	1.000	m3			
単位当り	1.000	m3	当り		

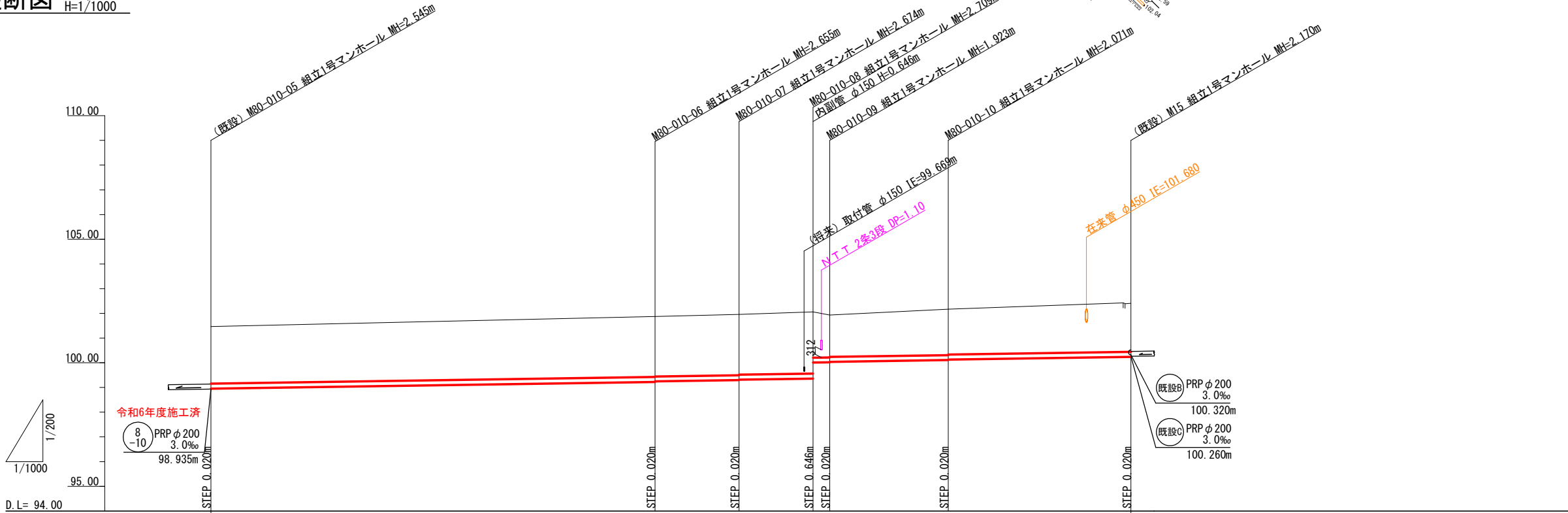
運搬費					
単価表 (F999100001-01)					
月単位 1 式					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
仮設材等運搬費 (往復) 運搬重量= 12.672 t	1.000	式			施工歩掛表 (WB010020-0019)
仮設材等積込み取卸し	1.000	式			施工歩掛表 (WB010030-0020)
合 計	1.000	式			

準備費					
単価表 (F999150001-01)					
月単位 1 式					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
ポンプ運転工		日			施工歩掛表 (DG000605-0022)
据付・撤去工	1.000	現場			施工歩掛表 (DG000610-0024)
合 計	1.000	式			

平面図 S=1/1000



縦断面図 V=1/200
H=1/1000



管 径 (mm)	φ 200					
勾 配 (‰)	3.0					
人 孔 間 距 離 (m)	90.00	17.00	15.00	3.40	24.00	37.00
土 被 (m)	2.32	2.45 2.43	2.47 2.45	2.50 2.86 1.72	1.87 1.85	1.96
管 底 深 (m)	2.525 2.525	2.655 2.635	2.674 2.654	2.709 2.063 1.923 1.903	2.071 2.051	2.170 2.170
管 底 高 (m)	98.955 98.955	99.225 99.245	99.296 99.316	99.361 100.007 100.017 100.037	100.109 100.129	100.240 100.240
地 盤 高 (m)	101.48 101.48	101.88 101.88	101.97 101.97	102.07 101.94	102.18 102.18	102.41 102.41
追 加 距 離 (m)	0.00	90.00	107.00	122.00 125.40	149.40	186.40
単 距 離 (mm)	0.00	90.00	17.00	15.00 3.40	24.00	37.00
測 点	M80 010-05	M80 010-06	M80 010-07	M80 010-08 M80 010-09	M80 010-10	既設M15

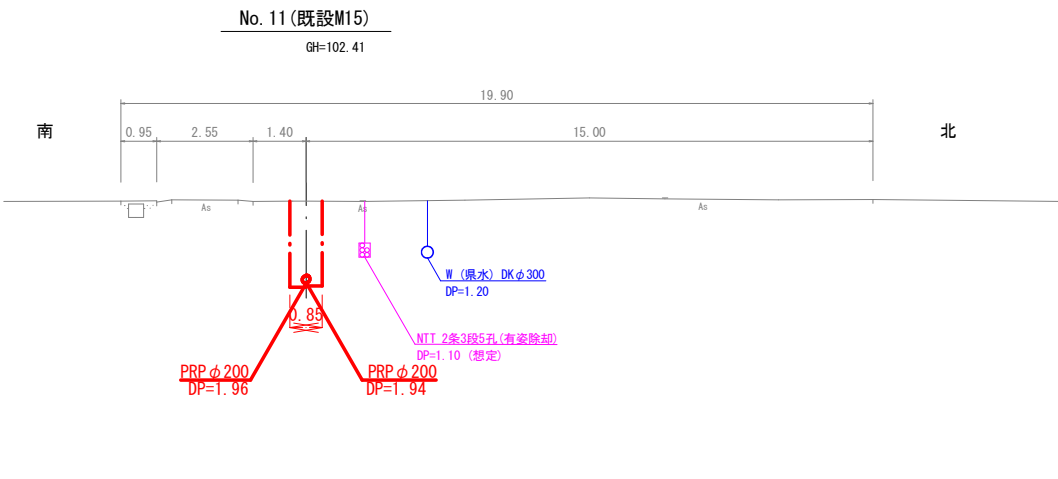
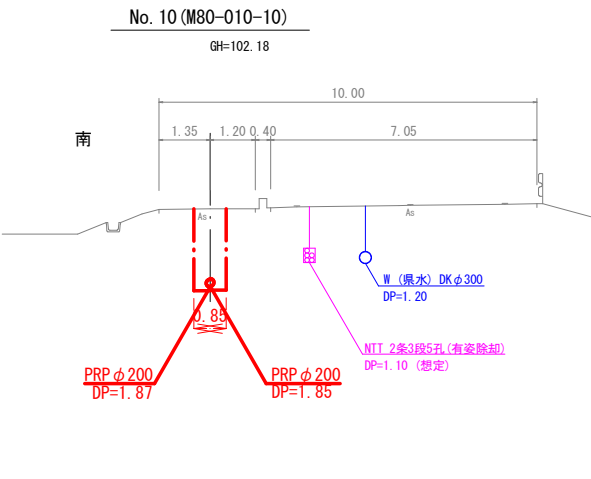
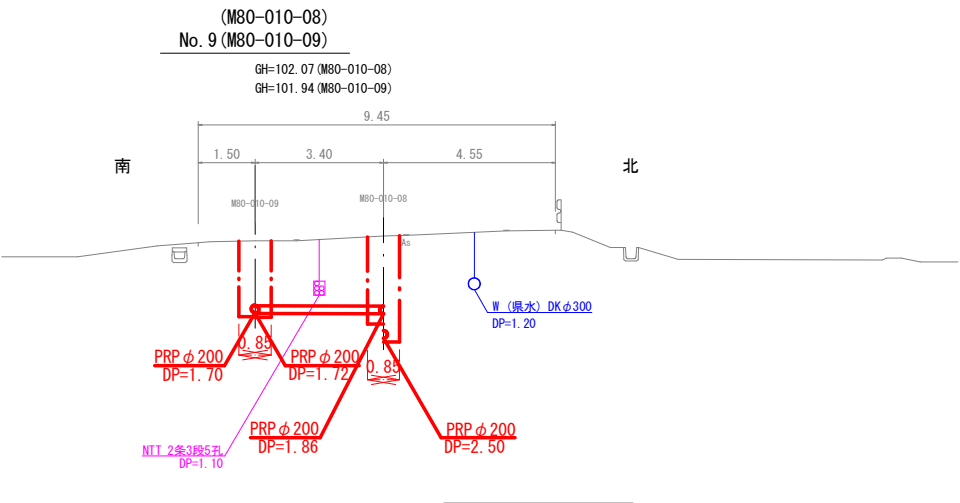
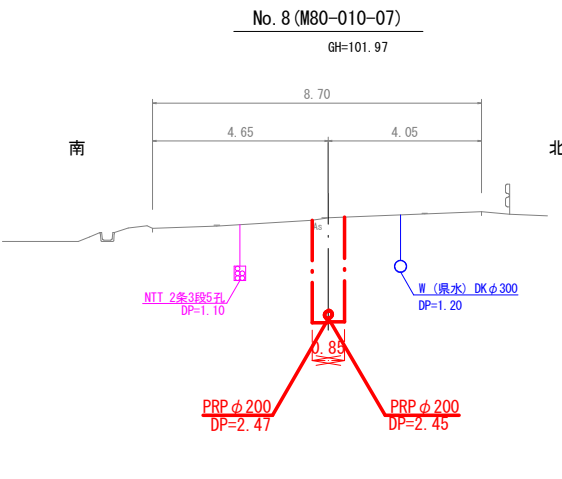
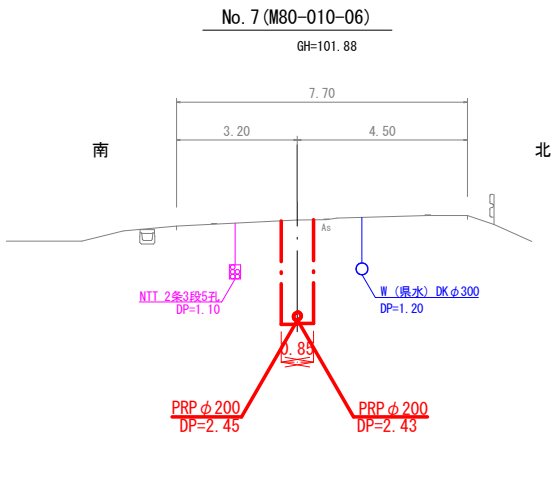
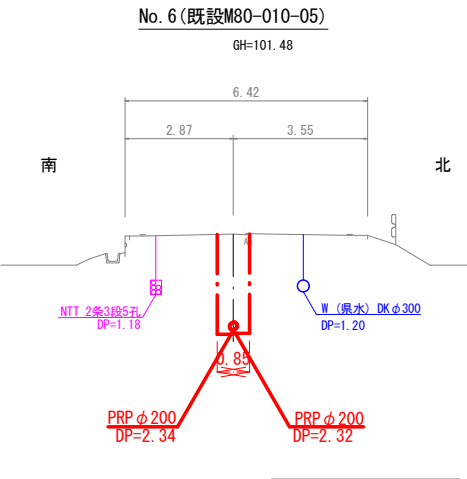
凡 例

	既 設 管 渠
	計 画 管 渠
	1 号 マンホール
	副 管 付 マンホール

管 番 号 表				
8-10				

工事名	令和7年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事		
工事箇所	可児市瀬田地内		
図面名	平面図・縦断面図		
縮尺	図 示	図面番号	
可児市 水道部 下水道課			

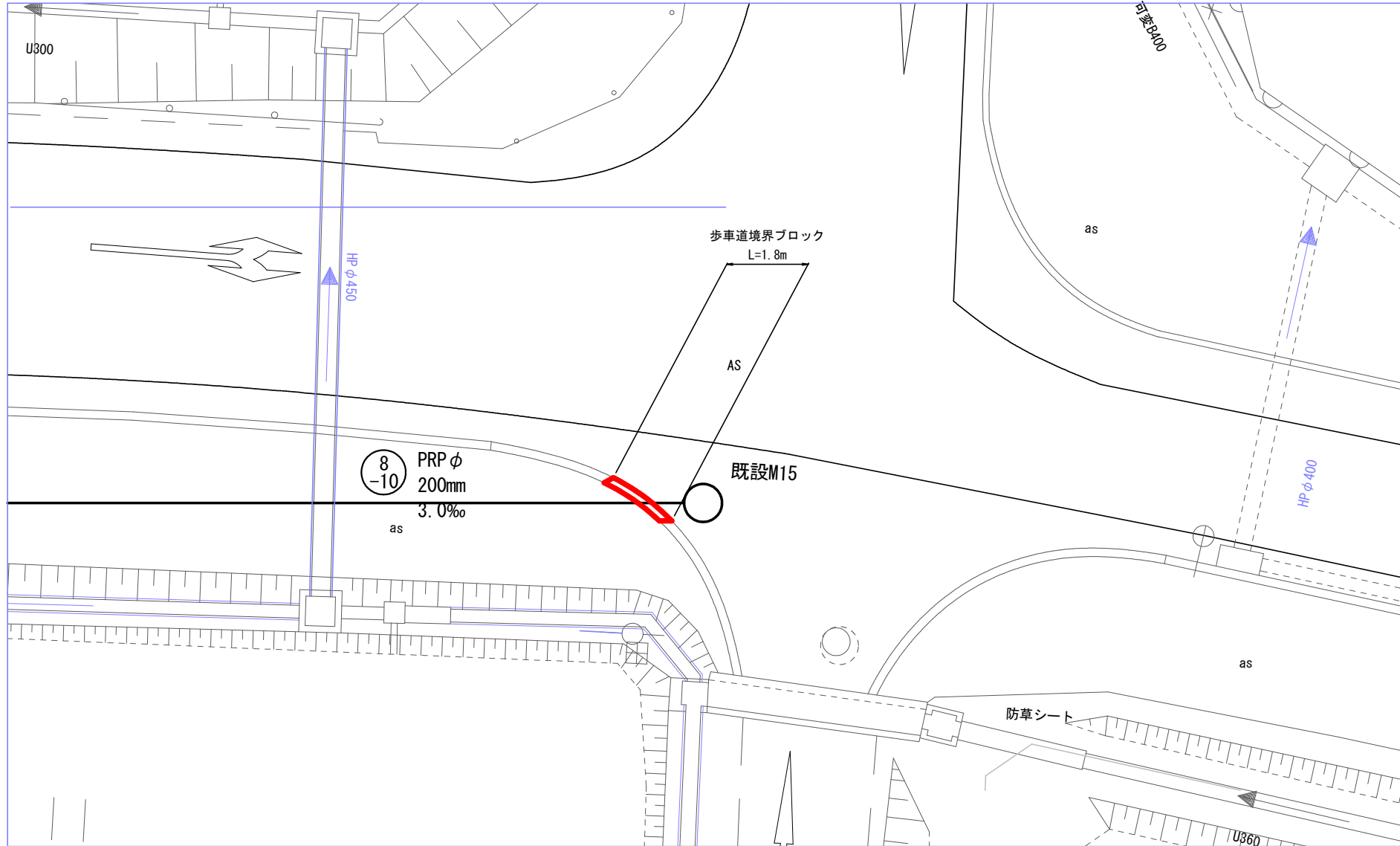
横断面図
S=1/200



工事名	令和7年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事		
工事箇所	可児市瀬田地内		
図面名	横断面図		
縮尺	1:200	図面番号	
可児市 水道部 下水道課			

付 帯 工 図

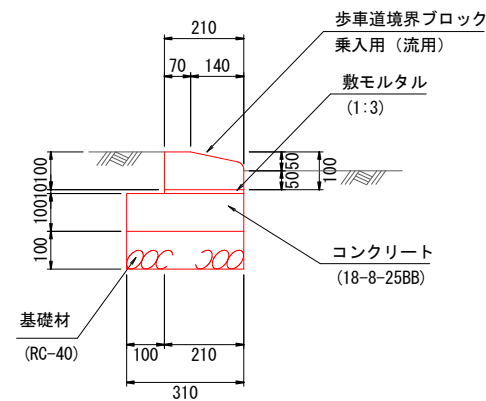
S=1/100



歩車道境界ブロック

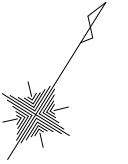
(参考)

S=1/10



付 帯 工 図

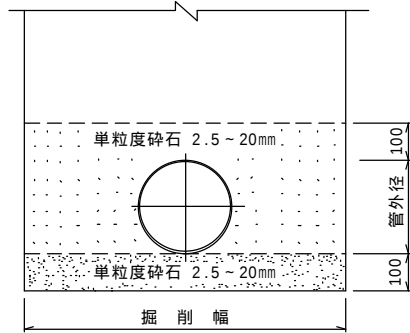
S=1/100



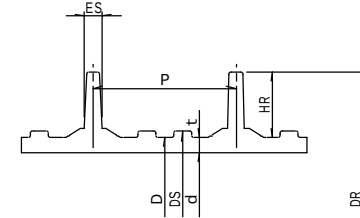
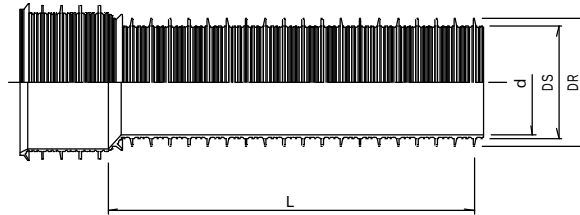
工事名	令和7年度瀬田・石森地内下水道管渠布設工事		
工事箇所	可児市瀬田地内		
図面名	付帯工図		
縮尺	図 示	図面番号	
可児市 水道部 下水道課			

基礎工

S = 1 : 1 0



片受直管

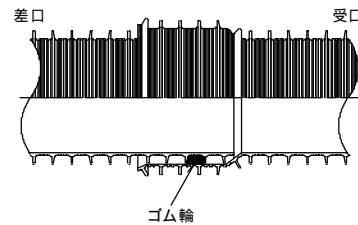
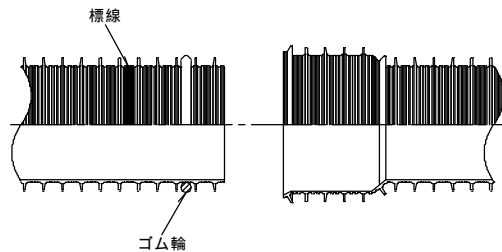


寸法表

(単位mm)

呼び径	シ-ル部外径 DS	厚 さ t	外 径 D (参考)	リブ外径 DR (参考)	リブ高さ HR (参考)	リブ間隔 P	リブ幅 ES (参考)	近似内径 d (参考)	1 m当り質量 (kg) (参考)	L
150	157.5 ± 0.6	2.4 ^{+0.8} ₋₀	155.5	171.0	7.7	19.1 ± 0.6	3.1	150	3.000	4000 ⁺³⁰ ₋₁₀
200	207.7 ± 0.7	2.4 ^{+0.8} ₋₀	205.5	228.8	11.6	25.4 ± 0.8	3.6	200	4.350	
250	258.5 ± 0.9	2.7 ^{+0.8} ₋₀	256.1	286.2	15.0	30.5 ± 0.9	4.4	250	6.380	
300	309.7 ± 1.0	3.0 ^{+1.2} ₋₀	307.1	343.6	18.2	38.1 ± 1.1	5.4	300	9.020	4000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀
350	360.2 ± 1.1	3.1 ^{+1.2} ₋₀	357.4	400.6	21.6	38.1 ± 1.1	5.9	350	12.030	
400	412.0 ± 1.3	3.8 ^{+1.4} ₋₀	409.0	458.4	24.7	50.8 ± 1.5	7.2	400	15.760	4000 ⁺⁵⁰ ₋₁₀
450	462.5 ± 1.4	4.0 ^{+1.4} ₋₀	459.3	514.6	27.6	50.8 ± 1.5	7.8	450	19.750	
500	512.9 ± 1.6	4.1 ^{+1.4} ₋₀	509.5	571.2	30.8	50.8 ± 1.5	8.7	500	24.440	

ゴ ム 輪 接 合



ゴム輪取付位置 (ゴム輪差口)

管端より第 2 番目と第 3 番目のリブの間とする。

標線をマジックインキなどで記入する。

標 線 位 置

呼び径 φ 150は、管端より第 6 番目と第 7 番目のリブの間とする。

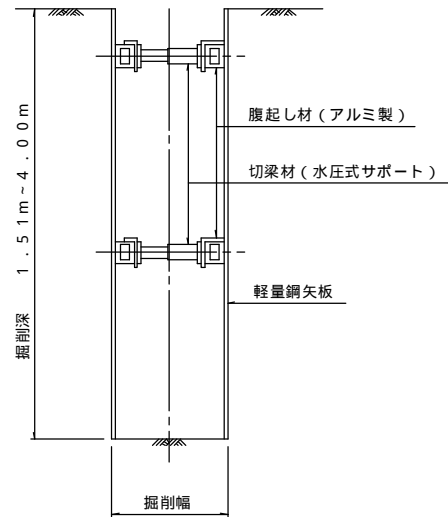
呼び径 φ 200以上は、管端より第 5 番目と第 6 番目のリブの間とする。

マンホール継手部は別図を参照

図 名	リブ付硬質塩化ビニル管標準図			
分 類	1 - 7	縮 尺	—	図 番
可 見 市 水 道 部 下 水 道 課				

軽 量 鋼 矢 板 土 留 工 標 準 図

断 面 図



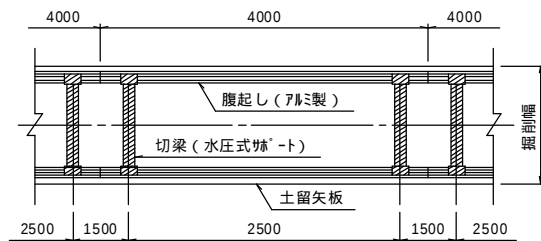
軽量鋼矢板建込み支保工設置基準

掘 削 深	支保工段数	腹起し材	切 梁 材
2.00m以下	1 段 支 保	アルミ製 t=7cm	水圧式サポート
2.01m以上 3.50m以下	2 段 支 保	アルミ製 t=11cm (アルミ製 t= 7cm)	"
3.51m以上 4.00m以下	3 段 支 保	" "	"

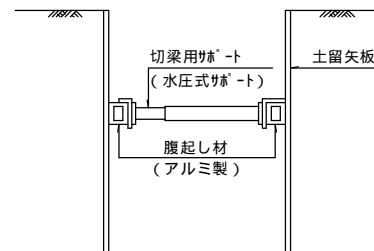
2 段支保で腹起し材厚 t=7cmを使用する場合は、構造計算書を添付するものとする。

軽 量 金 属 支 保 工 標 準 図

平 面 図



断 面 図



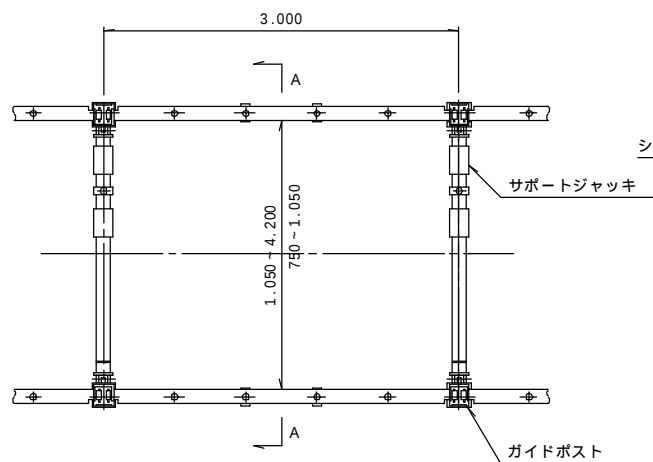
軽量金属支保工材料表 (100m, 1段当り)

腹起し長さ 4m	腹 起 し 材	5 0 . 0 本
	切 梁 材	5 0 . 0 本

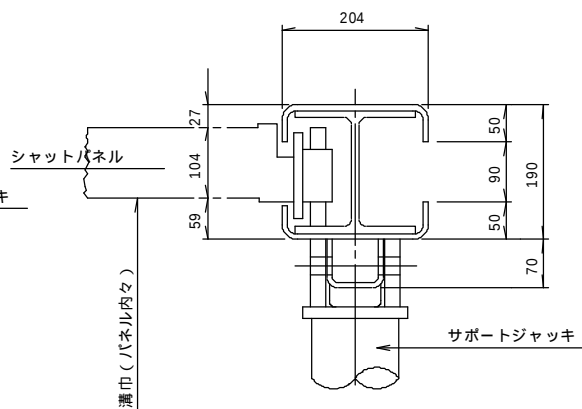
土質条件が不安定な時は構造計算書を添付するものとする。

図 名	軽量鋼矢板土留・軽量金属支保工標準図			
分類	3 - 1	縮 尺	—	図 番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

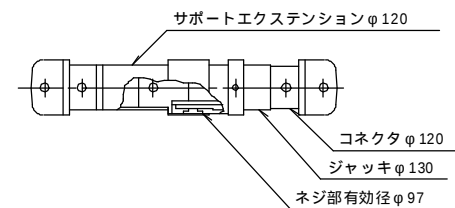
平 面 図



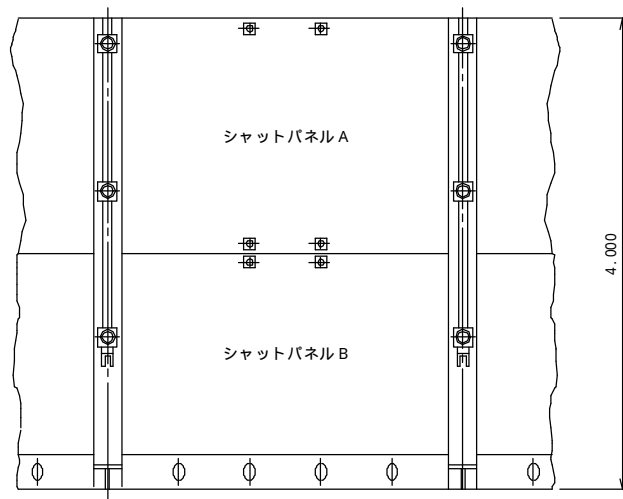
ガイドポスト断面詳細



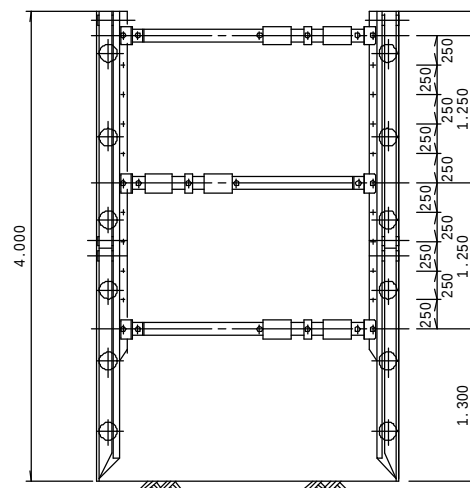
サポートジャッキ詳細 (1)



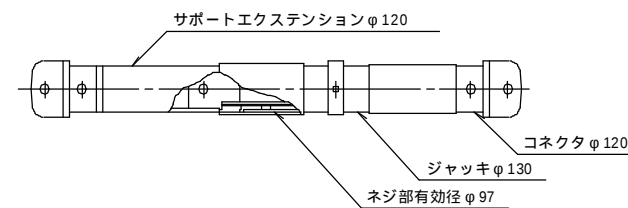
正 面 図



断面 A - A



サポートジャッキ詳細 (2)



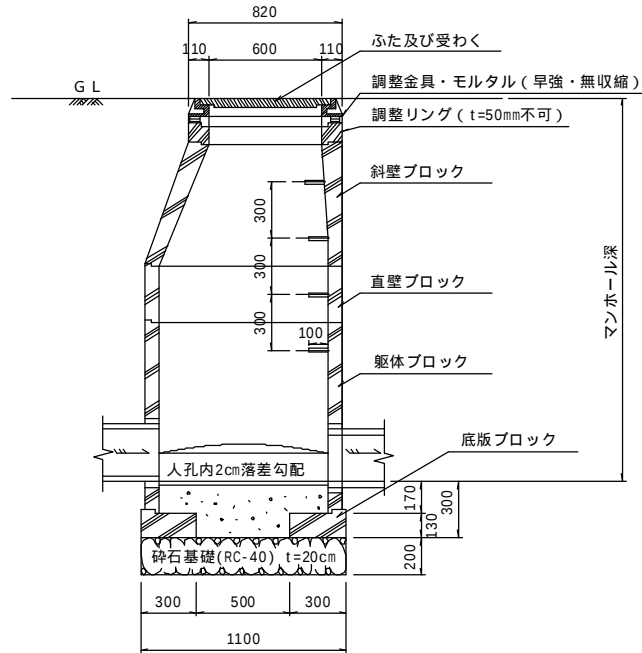
土質条件が不安定な時は構造計算書を添付するものとする。

掘削幅1.05m以下はサポートジャッキ (1)型とする。
本図は参考図であり施工に際しては、本品又は同等品を使用するものとする。

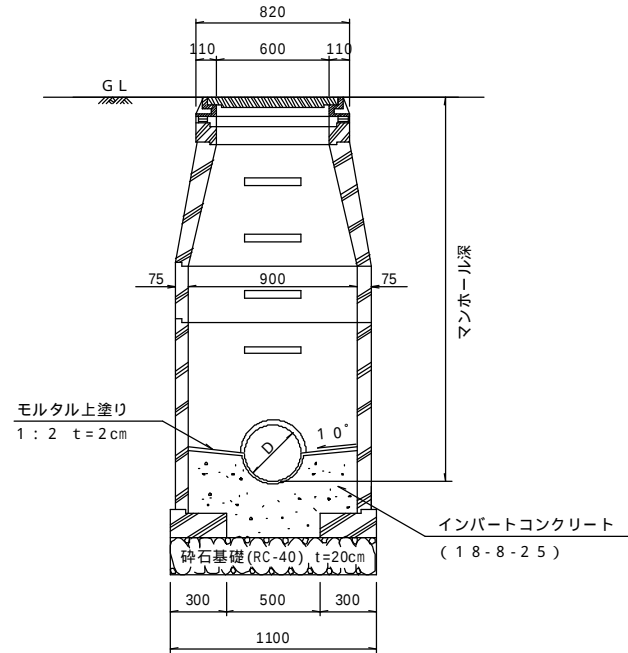
図名	たて込み簡易土留工参考図			
分類	3 - 2	縮尺	—	図番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

組立 1 号マンホール標準図

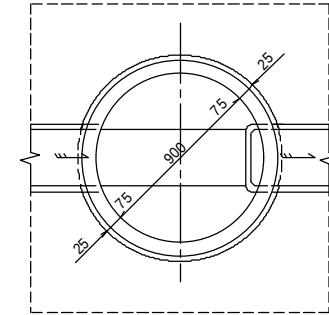
縦断面図



横断面図



平面図



底部工材料表 (内径φ200mm)

種 別	形状・寸法	計 算 式	単位	1ヶ所当り 数 量
碎石基礎	R C - 4 0	$\pi / 4 \times 1.100^2$	m ²	0.95
コンクリート	1 8 - 8 - 2 5	$\pi / 4 \times 0.900^2 \times (0.200/2 + 0.170 + 0.020/2) - \pi / 4 \times 0.200^2 \times 1/2 \times 0.900$	m ³	0.16
モルタル上塗	1 : 2 t = 2 cm	$\pi / 4 \times 0.900^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 - 0.200 \times 0.900$	m ²	0.74

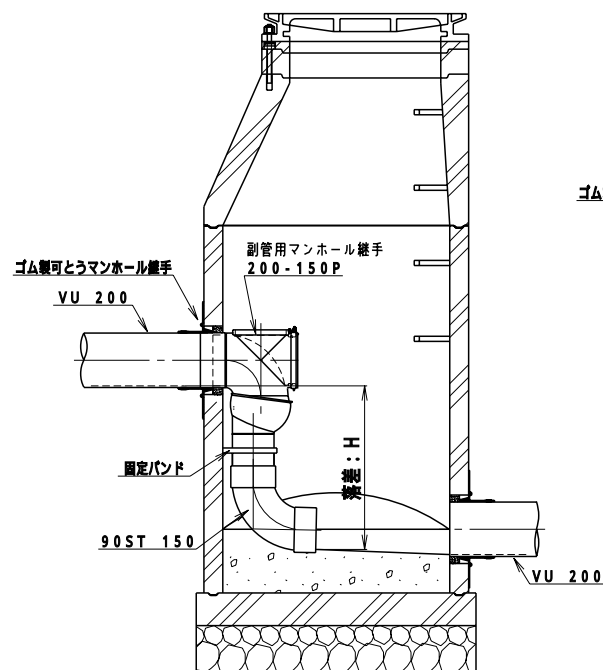
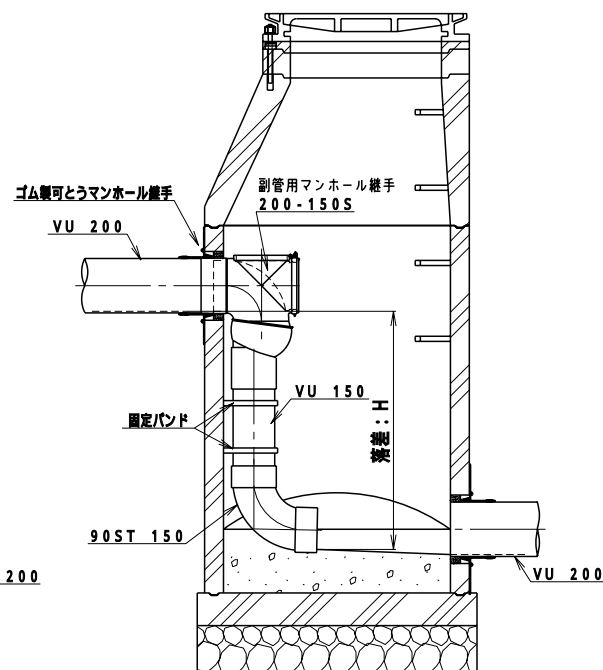
図名	組立 1 号マンホール標準図				
分類	4 - 3	縮尺	—	図番	
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課					

組立マンホール用内副管工詳細図

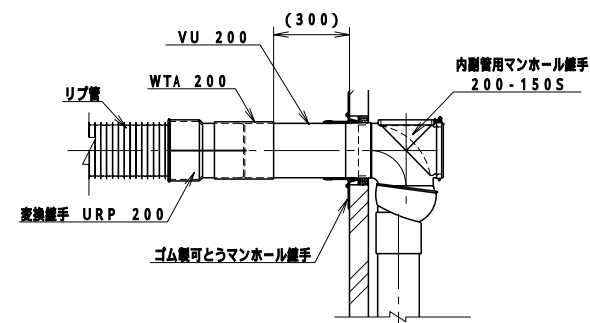
本管径：φ 200
副管径：φ 150

200 - 150 P (550 H < 650)

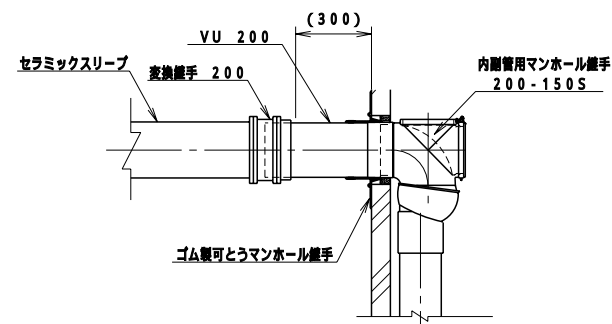
内副管用マンホール継手の流出部分（差口部）を切断し落差を調整する。

200 - 150 S (650 H)

リブ管との接続詳細図



セラミックスリーブ管との接合詳細図



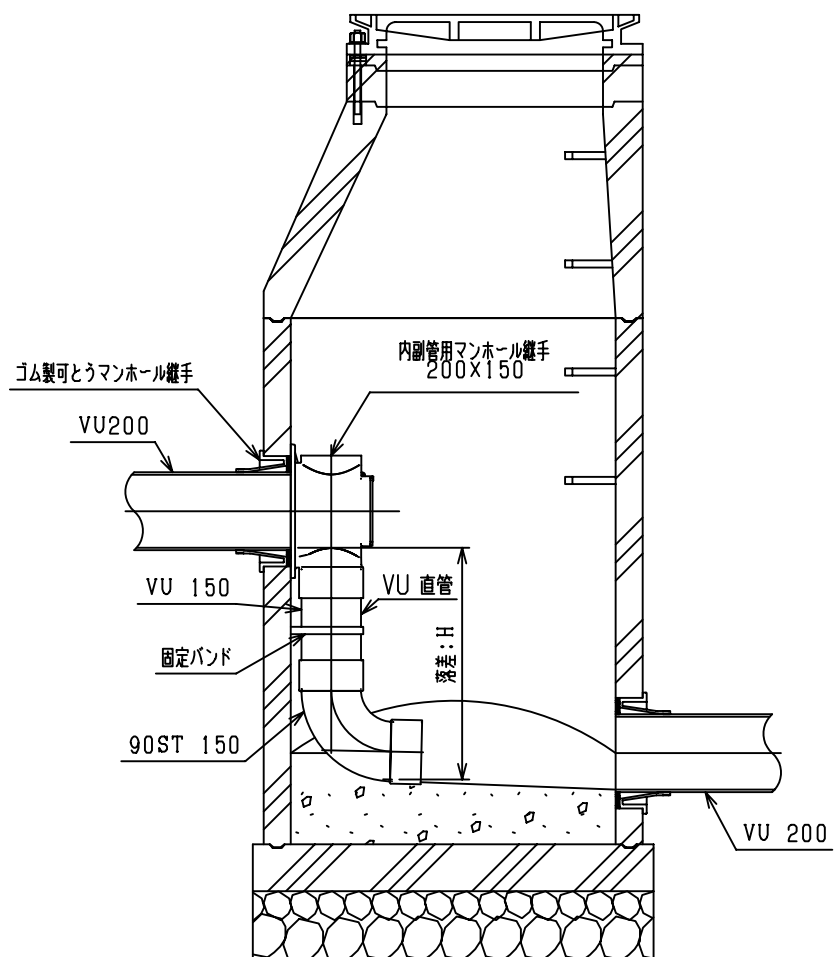
部材表

呼び	-	150 - 125	200 - 150	
適用範囲	mm	530 H	550 H < 650	650 H
内副管用継手タイプ	-	Sタイプ	Pタイプ	Sタイプ
VU直管	m	H - 0.38	-	H - 0.48
90°曲管	個	1	1	1
固定バンド	個	1	1	1

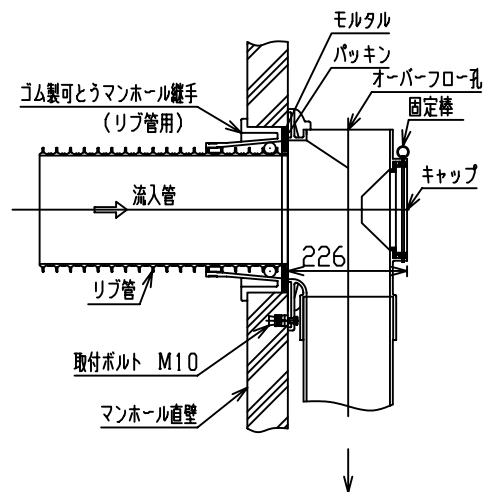
直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。
すべて、下部材に90°STを使用した場合。

図名	内副管工詳細図（参考図）			
分類	4 - 7	縮尺	—	図番
可児市水道部下水道課				

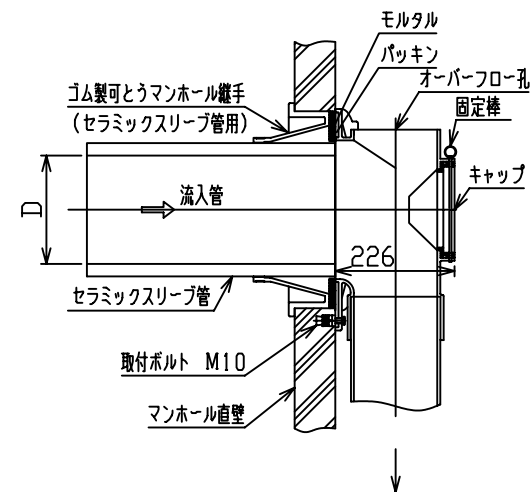
組立マンホール用内副管工詳細図



リブ管との接続詳細図



セラミックスリーブ管との接続詳細図



部材表

呼び径		150×100	150	200×150
摘要範囲	mm	372<H	468<H	470<H
VU直管	mm	H-269	H-305	H-307
90°曲管	個	1	1	1
固定バンド	個	※1	1	※1

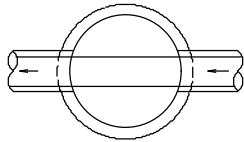
※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。但し、それ以上の場合は、1m毎に1ヶ所程度考慮する。
※すべて、下部材に90STを使用した場合。

図名	内副管工詳細図〈参考図〉			
分類	4-7	縮尺	-	図番
	可児市水道部下水道課			

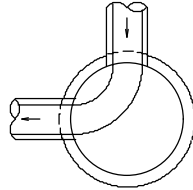
インバート標準平面図

インバート形状は各号人孔共通とする。
上記以外の場合は各組合せにより形状を決定するものとする。

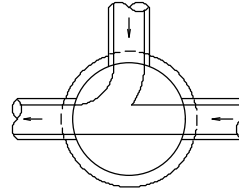
タイプA



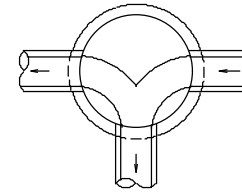
タイプB



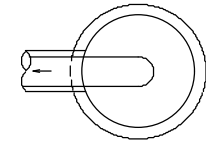
タイプC



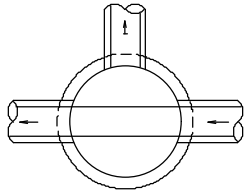
タイプD



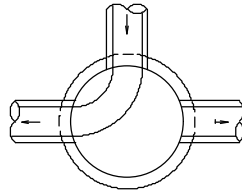
タイプE



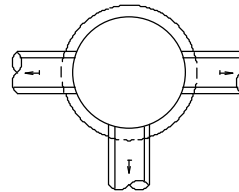
タイプF



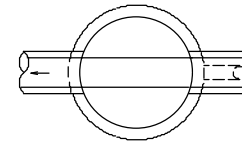
タイプG



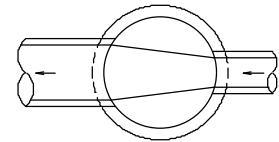
タイプH



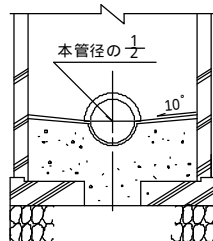
タイプI



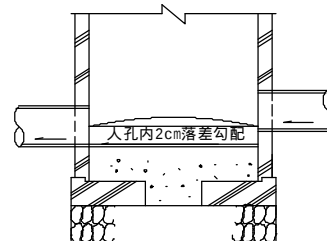
タイプJ



インバート横断勾配

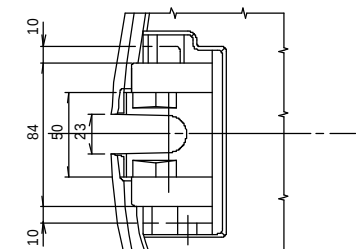


インバート縦断勾配

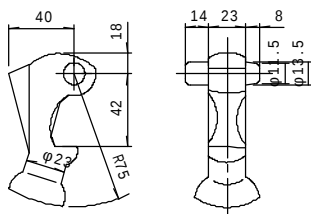


図名	マンホールインバート工標準図			
分類	4 - 8	縮尺	—	図番
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課				

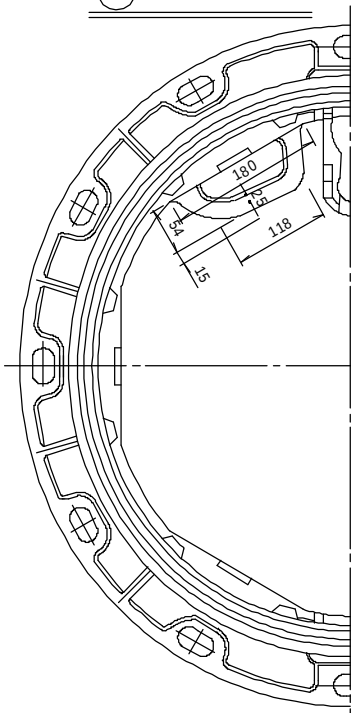
車道用人孔蓋標準圖 (T - 14)



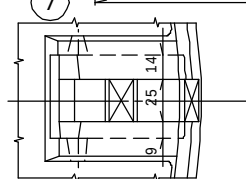
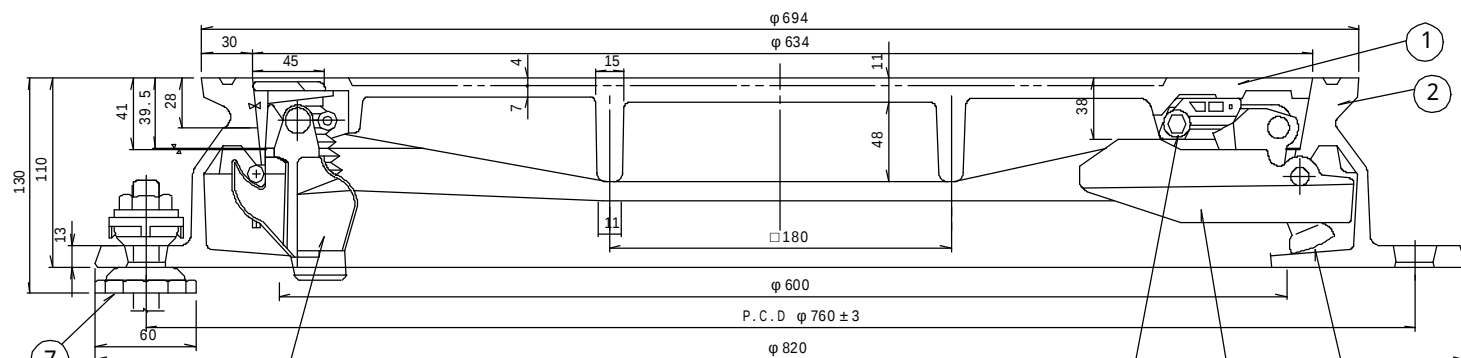
シールロック取付座詳細図



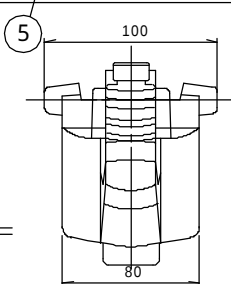
③ コネクタ詳細図



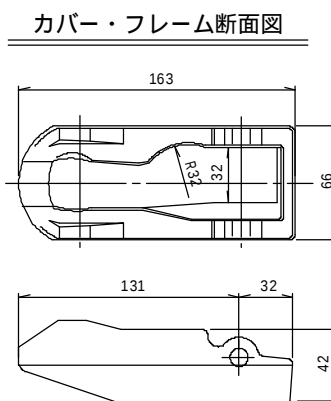
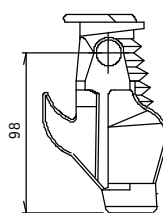
② フレーム平面図 (1 : 6)



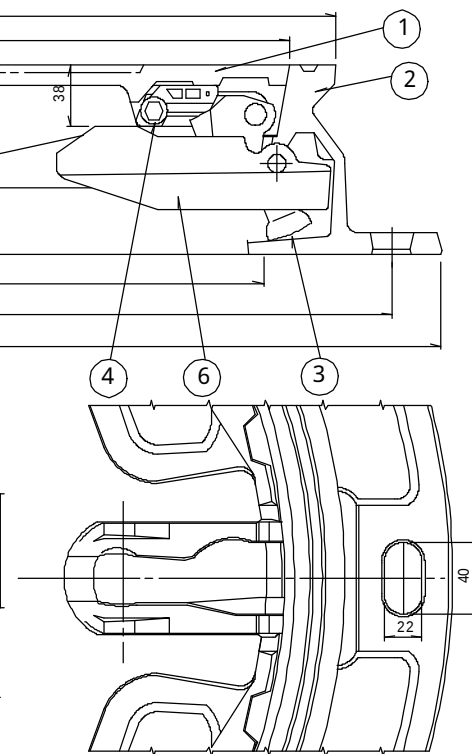
コネクタ取付座詳細図



⑤ シールロック詳細図

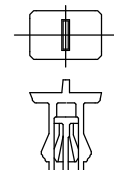


⑥ コネクタガイド詳細図

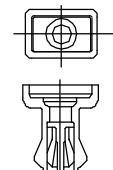


フレーム、コネクタガイド取付詳細図

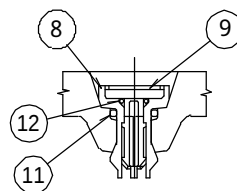
品番	名 称	材 質	個 数	備 考
1	カバー（蓋）	F C D 7 0 0	1	
2	フレーム（枠）	F C D 6 0 0	1	
3	コネクタ（蝶番）	F C D 6 0 0	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ポルト・Uナット
5	シールロック	F C D 6 0 0	1	ポルト・Uナット
6	コネクタガイド	F C D 6 0 0	1	取付部品
7	A J フレームホルダ	ポリアセタール他	3	
8	外枠キャップ	ナイロン	7	
9	キャップ	ナイロン	7	
10	仮キャップ	ナイロン	—	
1 1	O リング大	ニトリルゴム	7	
1 2	O リング小	ニトリルゴム	7	



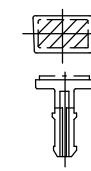
⑩ 仮キャップ



⑧ 外枠キャップ詳細図



キャップ取付断面図



⑨ キャップ詳細図

図名	車道用人孔蓋T-14（無収縮モルタル用）				
分類	4 - 1 1	縮尺	—	図番	
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課					